

キャリアセミナー（国際貢献）

【テーマ】『ゼロから始めて、世界を変える！一步を踏み出す勇気』

【日 時】平成27年5月28日（木）

【講 師】小川真吾さん（NPO 法人テラ・ルネッサンス 理事長）

【感想】

○実際に海外の現地へ行って活動なさっている方々は本当にすごいと思います。ただそれは誰でも出来ることではないし、紛争などの問題を根本的に解決しない限り、いちごっこだということも分かるので、先進国で暮らす私たちのような普通の人でも出来ることがないかと知りたくて、今日は参加させていただきました。途上国の人たちを、乱暴な言い方をすれば、間接的に私たちが殺してしまっているという事実の時折戦慄します。そんなこと望んではいけないのに・・・。問題を解決するのは本当に難しいのだなあとお話を聞いて思いました。私たちに出来るのはささいなことだし、それでも時間をかければ世界は良くなるのだろうけれど、今この瞬間に失われていく命は、それでは間に合わないのだということに無力感を覚えます。それでも何か出来ないか、考えていこうとは思いますが。

○私は大学で国際協力サークルに所属しているのですが、勉強になる言葉、共感することが多く、貴重な時間になりました。将来自分がどんな仕事をする事になっても、国際協力に関わって学んだことと想像力を働かせることを大切にしながら、ずっと国際協力に関わっていこうと思っています。今日のお話を聞いて、最後のメッセージを胸に刻みます。本日は有難うございました。

○まずは（小川さんの）第一印象が、アフリカの紛争地帯でお仕事をされている雰囲気ではなかったので少し驚いた。メディアでよく見かける戦場カメラマンのような方かと思っていたのだが、違った。自然体でこのような過酷なお仕事をなさっているのだろうが、過酷な地域で自然体でできるようなお仕事ではないので、秘められた強靱な意志や使命感のようなものを思い、興味深くお話を聞かせていただくことが出来た。紛争問題は、世界経済や政治の問題に関わっているので、自分の活動の微力さにうんざりしてしまいそうな気がするのに、そのような気配を全くお持ちではなさそうで驚いた。弱者に対するやさしさは、単なる同情や共感ではなく、小川さんのような強さや冷静さ、行動力、分析力のことを言うのだろう。小川さんからシミュレーションを求められた時は焦ったけれども、なかなか楽しかった。冷徹であることを褒めていただいたが、本物の冷徹な方法を聞いて、驚愕した。我々日本人の生活と無縁ではない紛争だということからには、現状・原因にまで思いを巡らす作業を今後は怠ってはいけないと思った。それが、真の意味での共感であると思う。

○今回のセミナーに参加して、自分がいかに無知であったかを痛感しました。自分で知っている、考えているよりもずっと現状は悲惨で、受け止めるのに時間がかかりそうです。苦しんでいる人々がこの世界にはたくさんいるのに、自分はなんて無力なんだろう、どうして苦しむ人々がいるのだろう・・・と今まで持っていた疑問が今回のセミナーで少し解消された気がします。もっと考えて、知りたいと強く思います。有難うございました。

○私は、国際協力といったら大きな組織や大きな活動など、自分には出来ないことばかり想像していましたが、今回のセミナーで紛争を解決するヒントはまさに自分にあるのだということが分

かりました。本日は有難うございました。

○テラルネの個人会員なので、本日のお話の内容は知っていました。しかし、久しぶりに生の声を聴き、変わらない姿勢で活動を続けられていることを知り、嬉しく思いました。本日のテーマで「一步を踏み出す勇気」ということについて、本日参加された若い人たちが、“これなら私にも出来る”と思える部分がもう少しあれば、更に良かったかなと思いました。

○私は貧しい国に行ったことはないです。小川先生の話聞いて、色々なことを考えました。特に、子どもが誘拐される話については、私に子どもがいなかった時にこのような話を聞いても何とも思っていなかったが、子どもがいる母になってから聞くと、かわいそうと思います。

○「無い物探し」ではなく「有る物探し」が支援において重要であるということが印象に残りました。国際協力の授業を取っていて、紛争の原因などについて考えることが多かったので、今日このような話を聞くことができ、本当に良かったです。

○紛争は私たちに無関係ではない、という言葉にすごくハッとさせられました。日本をはじめ、先進国で消費しているものの原料がどこから来ているのかを意識する機会は、日本ではとても少ないと思います。自分でももっと勉強して、たくさんの人に伝えていけたらいいと思いました。

○自分の顔を見られない女性の話や、少年兵にお互いを殺害させる話を聴いて、とても胸が痛かった。お金のために、先進国が武器の生産を続けていることが、紛争がなくなる大きな原因の一つであり、紛争地域の資源を利用している私たちも関係がある、ということ改めて認識しました。

○セミナー受講後、さっそく家族（3人！）とも話しましたが、今すぐできることをしていかなければ、いや、していきたいと思っています。今私が出来ることは、小川さんがおっしゃっていたように、沢山の人の伝えていくことかと考えています。あとは、日本を本当の戦争の出来る国にしないよう（今でも充分していることは、小川さんの話でよくわかりましたが・・・）動いていくことだと思っています。（この点については、ずっと探していますが、具体的な方法を探しています。）質疑応答での小川さんがご自身の活動を嫌と思ったことはないことや、又関わったアフリカの傷ついた人たちに笑顔が戻っていくことの嬉しさ、関わっている人たちに与えるのではなく、元々持っているものを引き出していくお手伝いをする、この3点、私も教える仕事の中で大事にしていきたい点であり、また小川さんのように情熱をもって生きていきたいと強く感じました。